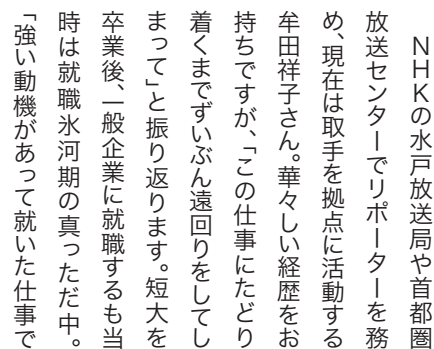




模索する中でつかんだ
小さい頃の夢

どとう
怒濤のNHK時代
培ったスキルが糧に

その後、司会業や地域密着のコミュニティFMでキャリアを積み、努力が実って30歳でNHK水戸放送局に採用。ところが仕事

分に向いていることは何だろうと、習い事もいろいろやりまして、そんな模索の日々の中、ふと子どもの頃の夢を思い出します。「漠然とですが、人前で何かを表現する仕事に憧れていたんです」。興味を持ったらまず行動する性分。取りあえず一歩踏み出そうと、夜間のアナウンススクールに通い始めました。

内容は想像以上のものでした。「リポーター」といっても実際は「ディレクター」業のウエートがかなり大きくて。ネタ探しに事前取材、原稿作成……。時にはビデオカメラを持って取材に行き、短い動画なら自分で編集することもありました」。周囲は年下ばかりという環境の中、がむしやらに働いた牟田さん。人生で一番忙しい時期でしたが、ここで身に付けたスキルが今の土台となったそう。

退職後は話す仕事だけでなく、動画制作や新聞記事の執筆など幅広い仕事に対応。2016年に長男を出産した後は、ブログで子育てに関する発信をしたり、絵本の読み聞かせボランティアに参加し



ブログ／ <https://ameblo.jp/orange480503/>

たりしています。「人前で表現する」という幼い日の夢をかなえた牟田さんですが、実際にやって気付いたことは「人の話を聞くのが好き」ということ。「取材対象者の魅力を引き出して、たくさんの人に伝えるのがこの仕事のだいごみ。まだ企画段階ですが、オリジナルコンテンツの制作も考えています」

マチコ

となりのMatch子^{マチコ}さん

Vol. 10

フリーアナウンサー・
講師・動画クリエイター

コエ・テラス合同会社 代表
む た あきこ

牟田 祥子さん



1973年生まれ。2006年より、NHK（水戸放送局・首都圏放送センター）でリポーター兼ディレクター業務を担当。2011年4月からフリーに。現在は、各種司会、記事執筆、動画制作、講師の他、テレビづくしch（ケーブルテレビ）のキャスターやNHKラジオ「マイあさ!」で市民リポーターとして活躍中。

バッグの中身を見せてください!

取材用のノートはコクヨの「測量野帳」をリピート。屋外での使用を想定したノートで、表紙がしっかりしているので、立ったままでも筆記しやすいそう。スリムなサイズ感もお気に入り！

ビタミンカラーが目を引く手帳には、これからやりたいことや目標がびっしり。「大好きな黄色の物を持っていると元気になるれます」と牟田さん。マリメッコのペンケースやATAOの名刺入れもカラフルで女子力高し！